

函館北ロータリークラブ会報

2014~15年度 国際ロータリー テーマ

ロータリーに輝きを

2014~15年度 国際ロータリー会長 ゲイリーC.K. ホアン

石橋輝夫 会長 テーマ “ゆっくりと、ほどほどに”

★会長 石橋輝夫 ★幹事 齋藤秀司



- ・例会場：ロワジールホテル函館 〒040-0063 函館市若松町14-10 TEL22-0111
- ・例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

《第2441回例会》第7号 8月27日(水)

本日のプログラム

卓話「犯罪のない住みよい地域づくり」

更生保護法人 函館更生保護協会 理事長 奥野 秀雄 氏



8月20日 卓話
函館商工会議所青年部
副会長 齋藤 利仁 氏

2014~2015 <第2440回例会>

第6号 8月20日の記録

- ◎司 会 石橋 輝夫 会長
- ◎斉 唱 我等の生業、四つのテスト

- ◎会長報告 石橋 輝夫 会長
- 函館RCから記念式典の案内が届いています。来週BOXに案内を入れますのでよろしくお願い致します。日時は10月25日、五島軒本店です。
- 例会終了後理事会を開催しますので、理事の皆様よろしくお祈り致します。

- ◎委員会報告
- 友好クラブ委員会 森 秀樹 委員長
千葉港RC創立30周年式典は11月14、15日です。本日BOXに詳細をいれました。当クラブ50周年の際には千葉港RCから16名参加していただきましたので、その人数くらいで参加したいと思います。次週例会時まで、仮登録の返事お願いします。

- ◎幹事報告 齋藤 秀司 幹事
- 既にご案内いたしました、当クラブ9月10日の例会は13日(土)に変更し開催いたします。
- 和歌山城南RC、千葉港RCより会報が届きましたので回覧いたします。
- 他クラブ例会変更 8月25日(月)函館亀田RC夜間例会、26日(火)函館東RC移動例会、26日(火)函館セントラルRC夜間例会に変更です。

- ◎親睦活動委員会 増山 正 副委員長
ニコニコBOX投入報告
石橋会長・森会員・増田会員・小笠原会員
山下会員・松橋会員・松見会員・深瀬会員
……函館商工会議所青年部副会長齋藤様を歓迎して。
弗田会員……例会欠席がちで申し訳ありません。今日も早退します。

- ◎卓話「函館フルマラソンについて」
函館商工会議所青年部 副会長 齋藤 利仁 氏
2007年東京マラソンが市民マラソンとして3万人参加で大成功をおさめました。これでマラソンブームに火がつき、1990年代に生産年齢人口減少に伴い、絶対的な需要が減り、ビール消費量や自動車の販売台数、函館の観光客入込数などほとんどすべてのものがピークアウトしているにもかかわらず、マラソン人口は逆行し増えました。東京マラソンの成功をみたほかの町が市民マラソンの創設をしてくれました。大阪、神戸、名古屋、京都。いずれの大会も定員をはるかに超え、大都市だけでなく熊本、徳島、下関、奈良などでも創設されました。

日本で1500ほどのマラソン大会のうち、日本陸連公認のフルマラソンの大会は75しかありません。その中で都市型、街中を走る大会は25しかありません。フルマラソンを走るランナーはこの都市型の大会を渡り歩

いています。

なぜ都市型のマラソン大会が少ないかといえば、警察の道路許可、人やお金も困難で、われわれがフルマラソン実現への活動をはじめたところ、「函館でフルマラソンは絶対無理だ」といわれました。一方、実施できれば、需要より供給が少ないわけで、東京マラソンなどは定員3万人に対して30万人がエントリーしています。北海道マラソンはたった1日で1万3000人の定員に達します。

函館ハーフは定員4000人の7割、およそ3000人が市内および近郊の方ですが、フルマラソンになると走るのはそのうちの1000人位といわれています。定員4000人とすると残り3000人は他の地域から家族を伴って宿泊します。フルマラソンは非常に疲れるので1泊では少なく、しかも函館は観光都市なので、複数泊します。

函館には2年後新幹線がきますが、フルマラソンに限らず人を集めるしかけをどれくらい作れるか、これが函館の将来を左右します。是非とも函館にフルマラソンを作らねばと思いました。2010年商工会議所青年部役員会で同じような考えがあり、函館でフルマラソンという話が出て、青年部の中にフルマラソン検討委員会を設置しました。2011年春の函館市長選で工藤市長にフルマラソンの話をしたところ、公約に入れてくれました。工藤市長も当選したので、教育委員会と検討会議を始めましたが、当時の教育委員会は話は聞くけど、無理だという。コースの提案をしてもこれでは警察は許さないという。京都、神戸、北海道の各マラソンを調べると5億、6億かかり、これは函館では無理で、いつかあきらめるだろうという態度でなかなか進みませんでした。これでは埒があかないと思い、松本会頭とともに市長に直談判し、公式の会議を作ってください、ハーフマラソン実行委員会の中にフルマラソン検討部会が発足しました。

我々青年部と道南陸協、函館市、北斗市、七飯町、北海道新聞社で検討部会が発足しました。私が部会長に就任し、ベクトルをあわせるためのコンセプトを発表しました。まず「函館ハーフマラソンと同時に開

催」。ハーフは走れるけど、フルはちょっとというランナーも多いので、ハーフをやめてフルにしてしまうのは本望ではない。次に「日本陸連公認を目指す」。公認だと大会に箔がつく。ランナーにも公認大会のほうが人気が高い。当初は人の面、お金の面でも北斗市、七飯町を含んだコースを考え、警察と折衝を行いました。幹線道路を使うのは難しく、函館市完結のコースとなりました。新幹線開業の年であれば様々な冠や協賛金もついてやりやすいということで2016年度で話が進みました。

しかし難問も多く、一番は警察の協力です。しかし救世主が現れました。青年部で10月にカルチャーナイトというイベントを行っています。札幌では日本で一番最初に同様の活動がされており、札幌で中心的な活動をされている方に、「商工会議所青年部でフルマラソンの活動をしているが、警察の許可がおりない」と話したところ、その方、北海道の現役の公安委員長、さらに元副知事の方で、すぐ動いていただいて北海道警から函館方面本部へトップダウンで話がありました。その翌週、市教委の方と警察へ折衝にいったところ「市民の理解が得られるなら協力します」とのこと。これで一気に話が進みました。検討部会の会議はマスコミにも公開しており、会議の翌日に道新と函新に載りました。市民の皆さんにフルマラソンが行われるんだ、と受け止められるようになりました。

いよいよフルマラソン開催の運びとなり、公式発表に至りました。2016年6月下旬、日曜日。これは「この時期ならトップ選手を呼びやすい」という日本陸連の意向でもあります。定員はフル4000人、ハーフ4000人。およそ4000名が函館で宿泊すると思われます。スタートはハーフ、フル同時の朝8時。制限時間5時間。予算1億3000万円。北海道新幹線開業記念の冠付き。これで道からの補助金をいただけるように話が進められています。飲食のイベントも同時開催し、1回限りではなく継続し、函館のピックイベントとして開催し、人数も拡大していきたいと考えています。

(会報担当者：渡部 二康 委員長)



建設業許可 北海道知事許可(特-18)渡第3434号
全日本不動産協会会員 北海道知事免許 渡島(4)第902号
1級建築士事務所登録 北海道知事(渡)第550号
新しいすまいの価値を創造する

ヒーロマンション

日商興産株式会社

〒041-0852 北海道函館市鍛冶2丁目1番3号
TEL 0138-56-6600 FAX 0138-56-2310
マンション事業部直通 TEL 0138-56-3361

ホームページ <http://www.nisshokousan.com/> メール info@nisshokousan.com

(広告掲載：山下 清司 会員)

◎ 7月23日出席報告 (小河 博保 委員長)

会員	21名	出席率対象会員	21名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	0名
当日出席	17名	当日欠席	4名
他クラブ出席	2名	出席合計	19名
出席率	90.48%		

次回のプログラム

平成26年9月3日(水)

卓話「現代葬儀事情」

(有)青山葬祭 代表取締役 宮沢 生雄 氏

テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番